

NWEC に支えられてのセンター運営

静岡県 特定非営利活動法人 浜松男女共同参画推進協会

NWEC との出会いは、私が浜松市の男女共同参画センターを担うことになった平成 22 年度に始まります。自己の主宰する法人組織の運営を NWEC に支えられて立て直したという感覚でいます。

その頃指定管理者制度は既に導入されており、当法人はセンターの運営者ではありませんでしたが、センターの建替え計画や市の組織再編計画など様々な環境変化が重なって、従来型組織での指定管理の継続は大変難しいものになっていました。そこで、平成 21 年度に組織を変革して、理事数名で全く新しい体制を組んで一からの指定管理応募に取り組みました。指定管理を継続させても、それまでの職員の継続雇用は適わない状況にあり、蓄積した男女共同参画推進のノウハウを失いかねないという法人の危機にあったのです。

建替え中に別所に設置されたセンターの指定管理を、何とか取得することができました。指定管理一年目の平成 22 年には、組織の長として、センターをどのように運営するのが良いかを学ぶために、NWEC で行われるリーダー研修に参加しました。そこで得た知識・技術がその後の運営にとっても役立ちました。それまで男女共同参画に漠然とした理解でいたものが、NWEC で体系を学ぶことで頭の中が整理され、国が進める男女共同参画政策の在り方が明確になりました。

平成 27 年度には建替え後のセンターの指定管理も取得できました。7 年間を振り返ると、当法人が運営する浜松市のセンターは格段に成長したという実感があります。現在の職員体制は平成 22 年度以降の新規採用者で構成されています。そのうち男女共同参画推進事業を担当する職員には、可能な限り NWEC の研修を受けてもらっています。一部の職員には今では法人の理事も務めてもらっています。NWEC のお陰で充実したセンター運営が成り立ち、組織に新陳代謝があっても今後の針路に心配はありません。